

第123期 中間期 株主通信

2019年4月1日～2019年9月30日



新東工業株式会社

株主の皆様へ



取締役社長

永井 淳

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループ第123期中間期（2019年4月1日～2019年9月30日）のご報告を申し上げます。

当中間期の世界経済は、米中間の通商問題を巡る緊張の増大や中国経済の減速、英国のEU離脱の行方等、依然として先行き不透明な状況が続いています。海外では、比較的堅調であった米国経済が通商問題の長期化により減速感が出ているほか、中国においても景気の下振れリスクを背景に投資抑制姿勢が継続しており、一般的に景気は低調に推移しました。

国内では個人消費や公共投資は底堅さを維持しましたが、通商問題等に伴う外需低迷により輸出が弱含んだほか、機械投資を中心に慎重姿勢が鮮明となる展開となりました。

当社グループの事業環境につきましては、海外では、中国等で自動車関連の設備投資が弱含んでおり、国内においても、外需や機械投資環境が低調に推移し、一般的に力強さを欠く環境となりました。

このような情勢下、売上高は、対前年同四半期43百万円増加の51,840百万円（前年同四半期比0.1%増）と増収を確保しましたが、先行き不透明な状況が受注環境に影響を及ぼし、受注高が同5,446百万円減少の46,790百万円（同10.4%減）、受注残高が同3,432百万円減少の35,608百万円（同8.8%減）となりました。

収益面につきましては、付加価値提案を推進し原価率の改善に注力した結果、営業利益は、同530百万円増加の2,464百万円（同27.5%増）となりました。経常利益は、持分法投資利益増加に伴い営業外収益が改善し同

791百万円増加の2,967百万円（同36.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、固定資産売却益が前年同期間にあった影響により同753百万円減少の2,071百万円（同26.7%減）となりました。

当期の中間配当金につきましては、1株当たり12円とさせていただきます。また、期末配当金を1株当たり12円として、年間配当金は前期より2円増配の1株当たり24円を予定しております。

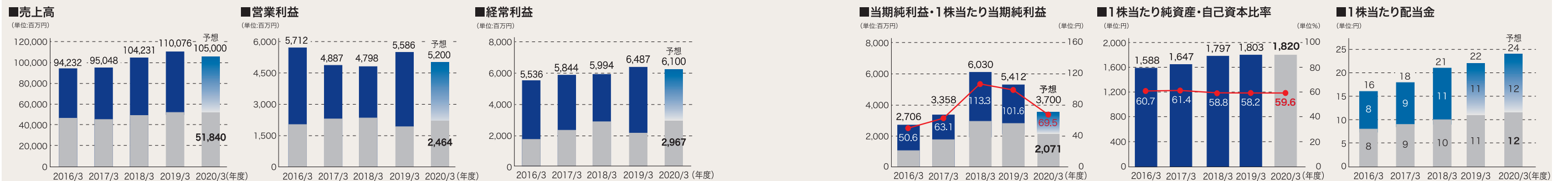
これからも皆様のご期待に沿うべく全力を傾けてまいりますので、このうえとも倍旧のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月

右記の二次元バーコードから
当社ホームページを
ご覧頂けます。



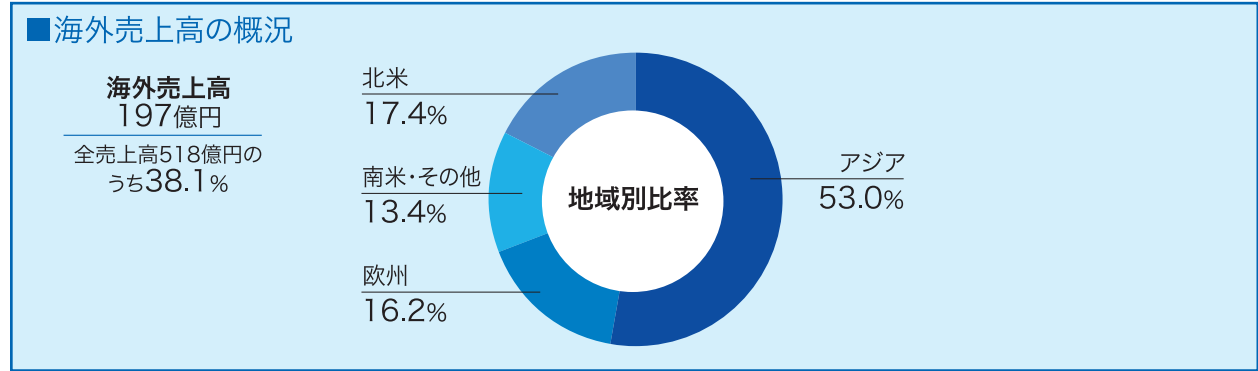
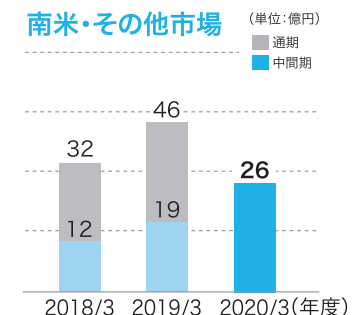
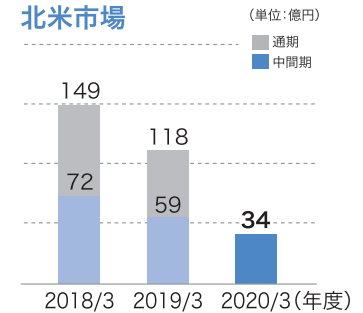
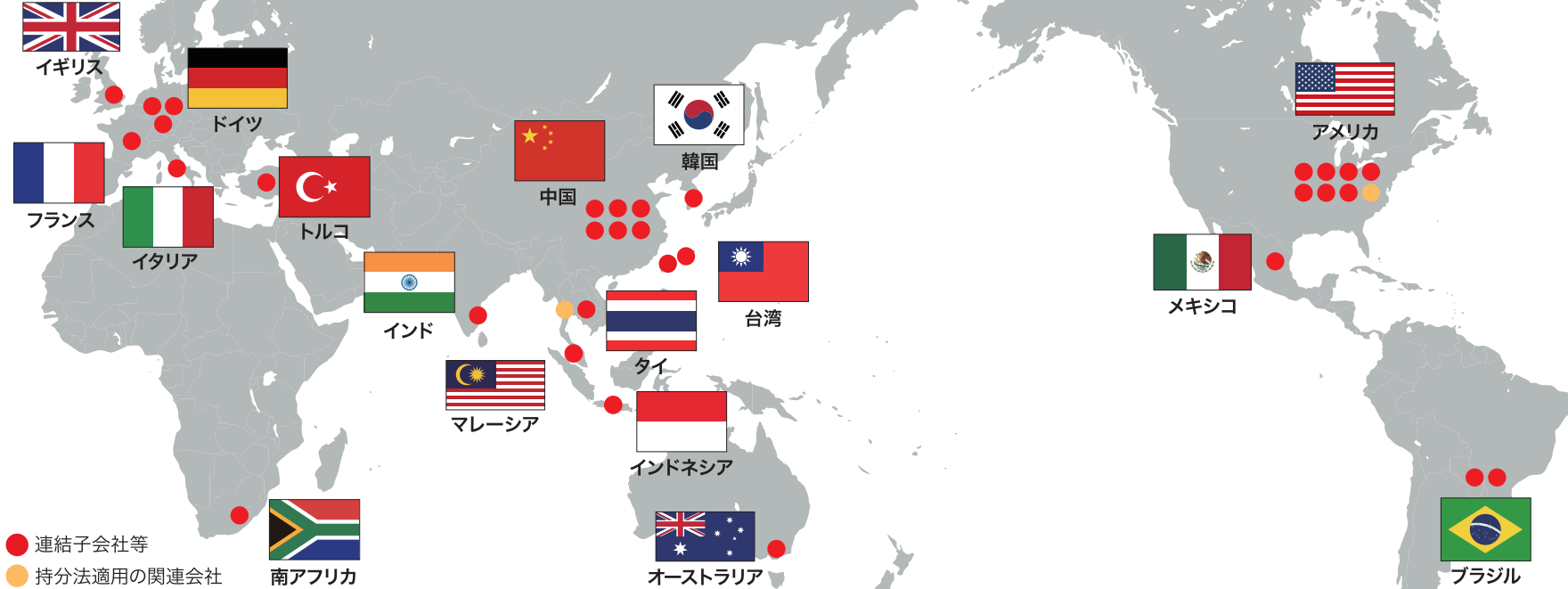
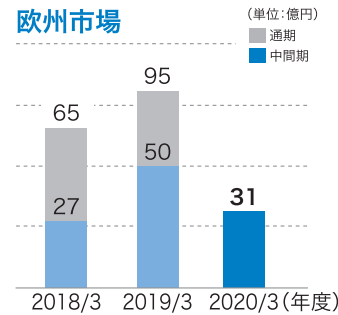
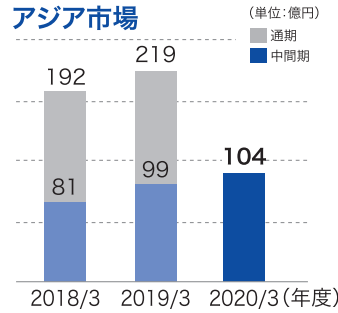
連結業績の推移



グローバル展開 One Global Sinto

海外の主な製造・販売サービス拠点

—17ヶ国34拠点—



「世界中のお客様から選ばれ続ける新東ブランド」

いい鋳物をつくる
プロセスの提案

ニーズを叶える
表面づくりを提案

快適な
作業空間の提案

シンボルマーク は「東」から昇る燃える太陽の炎で新東の行動力を表すとともに、「新」は挑戦、マークの10本の は、お客様と握手して一体となり、ともに発展していく姿を示しています。

新東ブランドを支え、その価値を高めるものとして、鋳造事業、表面処理事業、環境事業の3つの事業ブランドを設定しました。各事業領域を見える化し、お客様に付加価値をお届けする姿勢を表しています。

株主の皆様へ
グローバル展開
事業別業績
新分野
財務ハイライト
株主メモ
会社の概要

事業別業績

■事業内容 当社グループは、国内23社、海外34社で構成され、表面処理装置、投射材・研磨材、鑄造装置、環境、搬送およびメカトロ関連等特機の設備装置の製造・販売を主な内容として、グローバルに事業活動を展開しています。

表面処理事業

sinto SURFACE TECMART



鑄物の砂落としや製品のバリ除去からはじまった表面処理技術。機械や装置、投射材や研磨材、ノウハウなどをデータベース化し組み合わせることで、表面処理が持つ無限の可能性を引き出しています。近年では、数値化が難しかった表面状態を計測するための評価技術も開発し、新たな指標として活用されています。素材や用途に合わせた加工方法を生みだし続けることで、時代のニーズや産業構造の変化に対応してきました。

今後は航空宇宙、エネルギー、医療などの先端産業においても活用が期待されています。未来にかかせない表面処理技術で産業の発展に貢献し続けていきます。

売上高

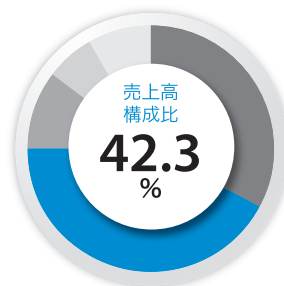
221億70百万円

(前年同期比2.1%減)

営業利益

20億7百万円

(前年同期比0.1%減)



TOPICS

兵庫県に表面処理の加工拠点「明石加工センター」を開所。横浜加工センター同様に、技術拠点(愛知)とのリアルタイムな技術的連携が可能。2021年に国際認証NADCAP取得を目指し、航空機市場での競争力を強化。



明石加工センター

鑄造事業

sinto FOUNDRY INTEGRATION



「産業の米」と呼ばれる鑄造。自動車、鉄道車両、建設機械をはじめ、多くのものづくりの基盤と人々の豊かな暮らしを支えています。創業時から鑄物製品の付加価値に繋がる技術を開発し、世界の鑄造業界をリードし続けています。また、設備だけでなく、長年にわたり蓄積してきた鑄物づくりのノウハウを新技術の開発に活かしています。近年ではIoTを駆使して鑄物づくりをサポートする独自の生産システムを開発し、鑄物品質の向上、生産性アップ、さらには省人化の実現に努めています。

もっといい鑄物づくりの実現のため、これからも挑戦し続けていきます。

売上高

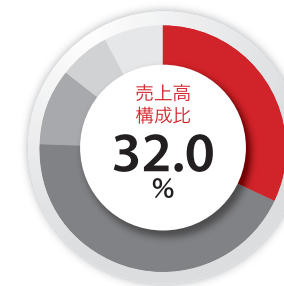
167億31百万円

(前年同期比3.3%減)

営業利益

3億51百万円

(前年同期比9.3%増)



TOPICS

4年に1度開催される世界最大の鑄造関連展示会「GIFA2019」へ出展。海外のグループ会社と連携し「いい鑄物を計画通りに生産するためのIoTソリューション」というテーマで、お客様の様々なご要望に対応できる技術力をPR。



「GIFA2019」に参加した当社の社員一同

事業別業績

環境事業

sinto WELLNESS CREATION™
sinto WELLNESS CREATION

売上高
54億59百万円
(前年同期比1.7%増)

営業利益
4億90百万円
(前年同期比22.1%増)



工場内環境の改善意識の高まりにより、水処理装置が好調に推移した他、メンテナンス・部品の売上が順調に推移した結果、売上高は54億59百万円(前年同期比1.7%増)となりました。
営業利益は、増収要因に原価率の改善が加わり4億90百万円(同22.1%増)となりました。

寿命が長く、デザイン性の高い床を実現

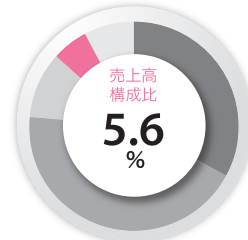


働きやすい床づくり

搬送事業

売上高
29億2百万円
(前年同期比15.6%減)

営業利益
1億56百万円
(前年同期比11.2%減)



ロボットメーカー向けシザーリフトは堅調でしたが、工作機械業界や自動車業界向けコンベア等に減速感が見られ当セグメント全体では減収となった結果、売上高は29億2百万円(前年同期比15.6%減)となりました。

営業利益は、減収要因が大きく1億56百万円(同11.2%減)となりました。

車いすのまま乗降可能

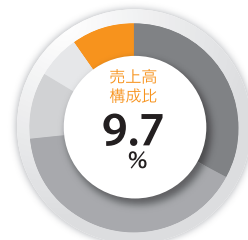


バスの中
バスの外から撮影
エレベータ(リフト)付リムジンバス

特機事業

売上高
50億62百万円
(前年同期比43.9%増)

営業利益
1億33百万円
(前年同四半期は3億2百万円の損失)



車載用の二次電池製造設備、パワー半導体検査ライン向け装置が好調に推移した結果、売上高は50億62百万円(前年同期比43.9%増)となりました。

営業利益は、増収及び原価低減により1億33百万円(前年同四半期は3億2百万円の損失)となりました。

業界初のテスターとして注目



電気特性検査装置

新分野

無菌分野



ips細胞をはじめとする高度な再生医療など、現在、医薬分野の技術革新は日々飛躍的に発展しています。そこにかかせないひとつが、人の健康やいのちを守るための新薬開発や製造の現場で、厳密な無菌環境をつくり出す「エアレックス」の技術。最先端医療を支えることで、未来へ続く健やかな生活に貢献しています。

EV分野

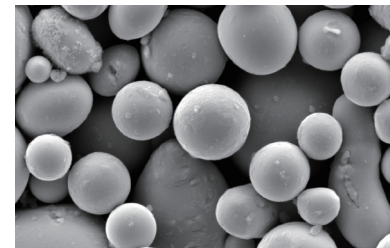


「TOP」との協働により、次世代へとつながる電気自動車(EV)に直結したバッテリー、インバータ、モータのさらなる小型化や高性能化に関する技術開発に貢献しています。特に電池材料をより効率の良い固体化につなげる技術は、異素材や他分野への活用が期待されています。



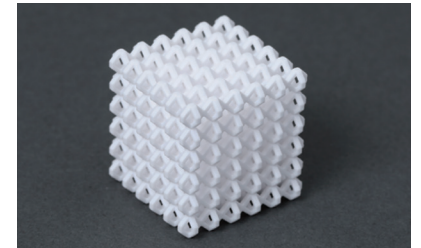
当社グループ一丸となり、
既存の技術に新たな技術を加え、
新分野へチャレンジしています。
(「」内はグループ会社名)

粉分野



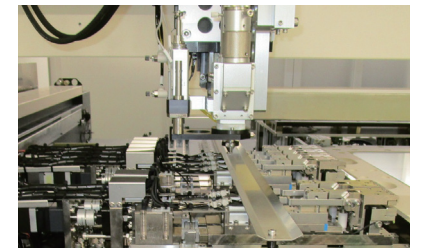
長年培ってきた表面処理技術から生まれたのが、業界初、業界最小のわずか1~10ミクロンの形状の金属磁性粉末を安定して製造する技術です。金属磁性粉末を用いた製品は、製造工程で固めたりシート状にしたり、形状を問わず各種電子製品に組み込むことができ、その機能と可能性が注目されています。

セラミックス分野



長年培ってきた鑄造技術「Vプロセス」をセラミックスに応用して、従来は製造困難だった大型一体成形を実現。また、ミクロン単位の超精密加工で実現した測定器具は高精度なものづくりを支えています。さらには、航空宇宙や医療分野において、「3Dセラム・シントー」とともにセラミックス3Dプリンターによる複雑形状製品や窒化ケイ素製品の用途拡大を進めています。

有機EL分野



世界中の注目を集める有機ELディスプレイ。その生産にかかせないのが、液晶で培った「新東Sプレジジョン」のコア技術である測長技術です。スマートフォンや車載インパネなどのパネル製造工程はもとより、今後普及が予想されるVRや、曲がるディスプレイの生産にもかかせない技術となってきました。

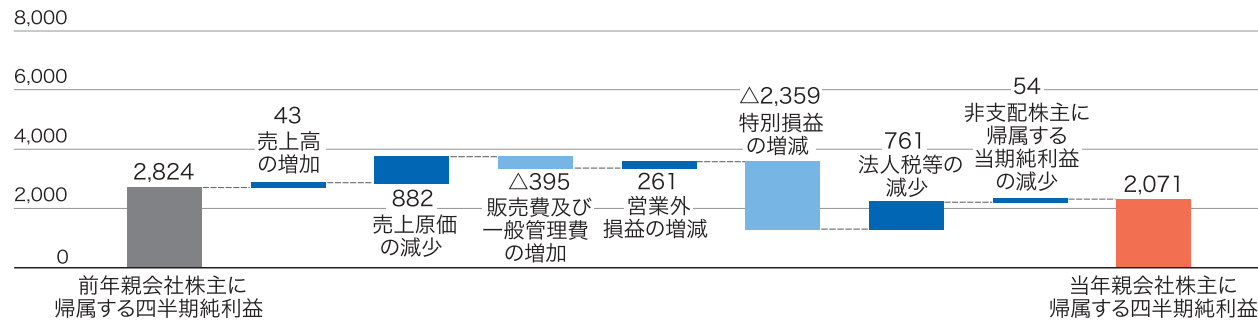
財務ハイライト

	当期中間期	前年中間期	増減
売上高	51,840百万円	51,797百万円	0.1%増
営業利益	2,464百万円	1,933百万円	27.5%増
経常利益	2,967百万円	2,176百万円	36.4%増
純利益	2,071百万円	2,824百万円	26.7%減
1株当たり配当金	12円	11円	1円増配

連結損益計算書の概要

単位:百万円(未満切捨)

2019年4月1日～2019年9月30日(前年中間期との増減)



連結貸借対照表

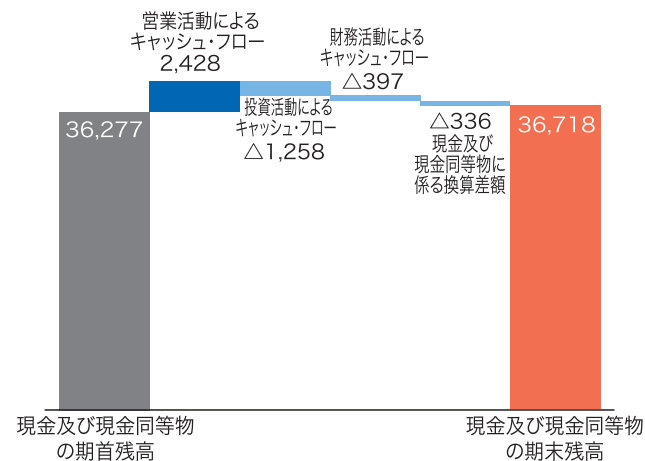
単位:百万円(未満切捨)

資産合計		負債・純資産合計	
前期 (2019年3月31日現在)	当期中間期 (2019年9月30日現在)	前期 (2019年3月31日現在)	当期中間期 (2019年9月30日現在)
164,986	162,615	164,986	162,615
流動資産 100,701	流動資産 97,818	負債 63,521	負債 60,381
固定資産 64,284	固定資産 64,796	純資産 101,465	純資産 102,233

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円(未満切捨)

2019年4月1日～2019年9月30日



会社の概要

- 商号 新東工業株式会社(英文名: SINTOKOGIO, LTD.)
- 本店所在地 名古屋市中村区名駅三丁目28番12号 大名古屋ビル24階
- 設立年月日 1934年(昭和9年)10月2日
- 資本金 57億5,222万4,825円
- 従業員 1,699人(連結4,104人)(2019年9月30日現在)
- 役員 (2019年9月30日現在)

取締役会長(社外)	上田良樹	取締役(社外)	小澤正俊
代表取締役社長	永井淳	取締役(社外)	山内康仁
常務取締役	久野恒靖	取締役(社外)	唐木康正
常務取締役	日比正明	監査役(常勤)	後藤剛
取締役	谷口八束	監査役(常勤)	大久保雄二
取締役	森下利和	監査役(社外)	小島俊郎
取締役	橋詰政治	監査役(社外)	長谷川和彦
取締役	石田茂		

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	単元株式数	100株
定時株主総会	毎年6月	証券コード	6339
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社		
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部		
上場証券取引所	東京証券取引所、名古屋証券取引所		
公告の方法	電子公告(http://www.sinto.co.jp/ir/koukoku/index.html) (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)		

- 未払配当金の支払いに関するお申出先
株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行にお申出ください。
- 住所変更、単元未満株式の買取のお申出先
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座が無い場合特別口座を開設された株主様は、特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお申出ください。

新東工業株式会社

〒450-6424 名古屋市中村区名駅三丁目28番12号

Tel 052 582 9211 Fax 052 586 2279

www.sinto.co.jp

